

2024 | 12月期 中間 決算説明資料

(2024年1月1日～2024年6月30日)

2024年8月26日

日本フェンオール株式会社

Contents

はじめに	2
1. 2024年 12月期 中間決算概要	5
セグメント別実績	9
2024年上期の主な取組み	16
2. 2024年度 通期連結業績見通し	18
2024年度 配当・株主還元について	21
3. Appendix	23

はじめに

ミッション

価値創造で未来の安全と安心をカタチに

ビジョン

お客様の期待を超える「ものづくり」のベストパートナー

バリュー

Fenwal WAY

「品質と信頼」「探究と挑戦」「挨拶と感謝」

スローガン

「基本の徹底」と「変化への挑戦」

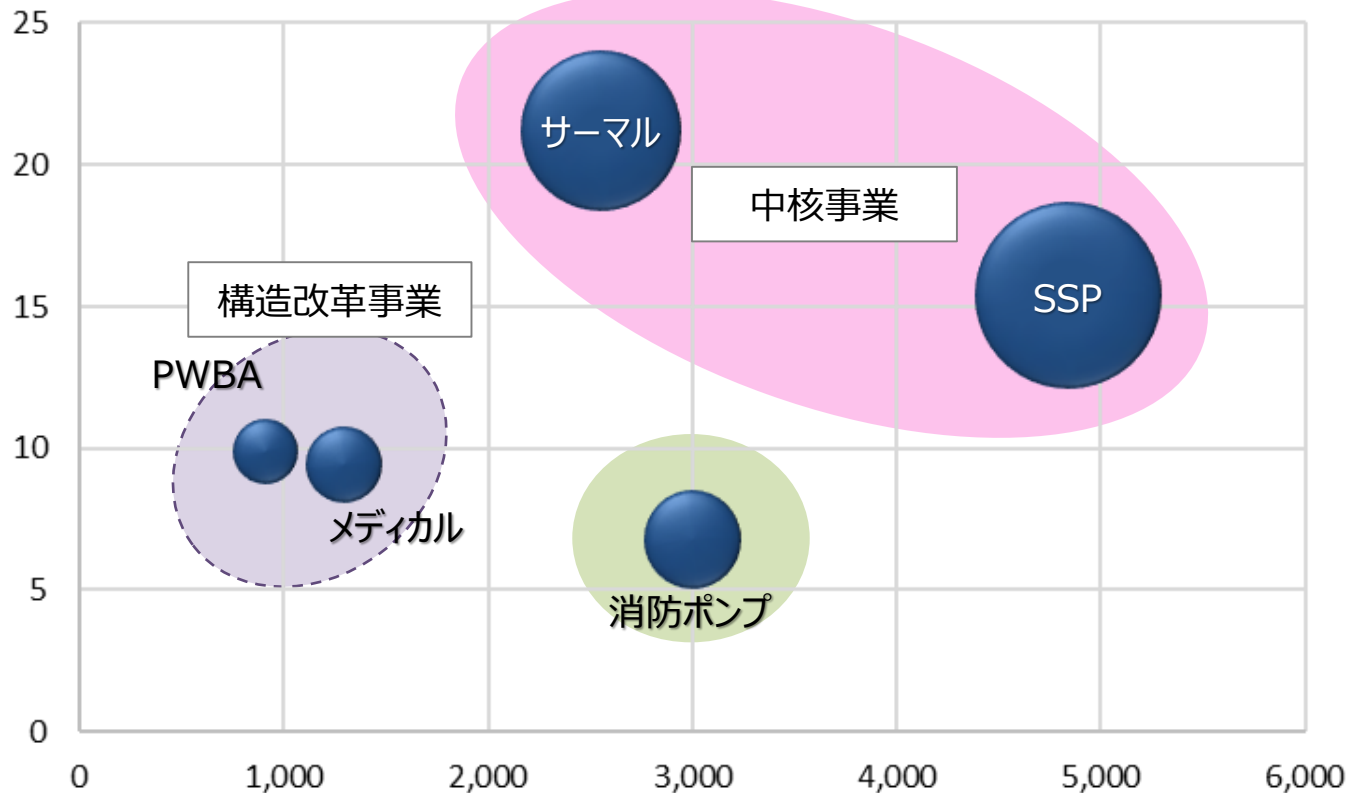
- 品質保証体制の強化
- 製品開発力の向上
- 人財育成と適所適材



営業利益率 (%)

2023年度業績に基づくイメージ

営業利益
サイズ



売上高 (百万円)

1. 2024年12月期 中間決算概要

■ 業績（前期比）

- ・受注は、SSPのガス消火設備や消防ポンプ部門の消防車等により増加
- ・売上は、SSPのガス消火設備の竣工等の増加はあったものの、サーマルにおけるセンサーの減少等により横這い
- ・営業利益は、SSPの高採算案件の竣工及び販管費減少により増加
- ・中間時点で営業利益、経常利益、当期純利益は年間予算を達成

■ 主な取組み

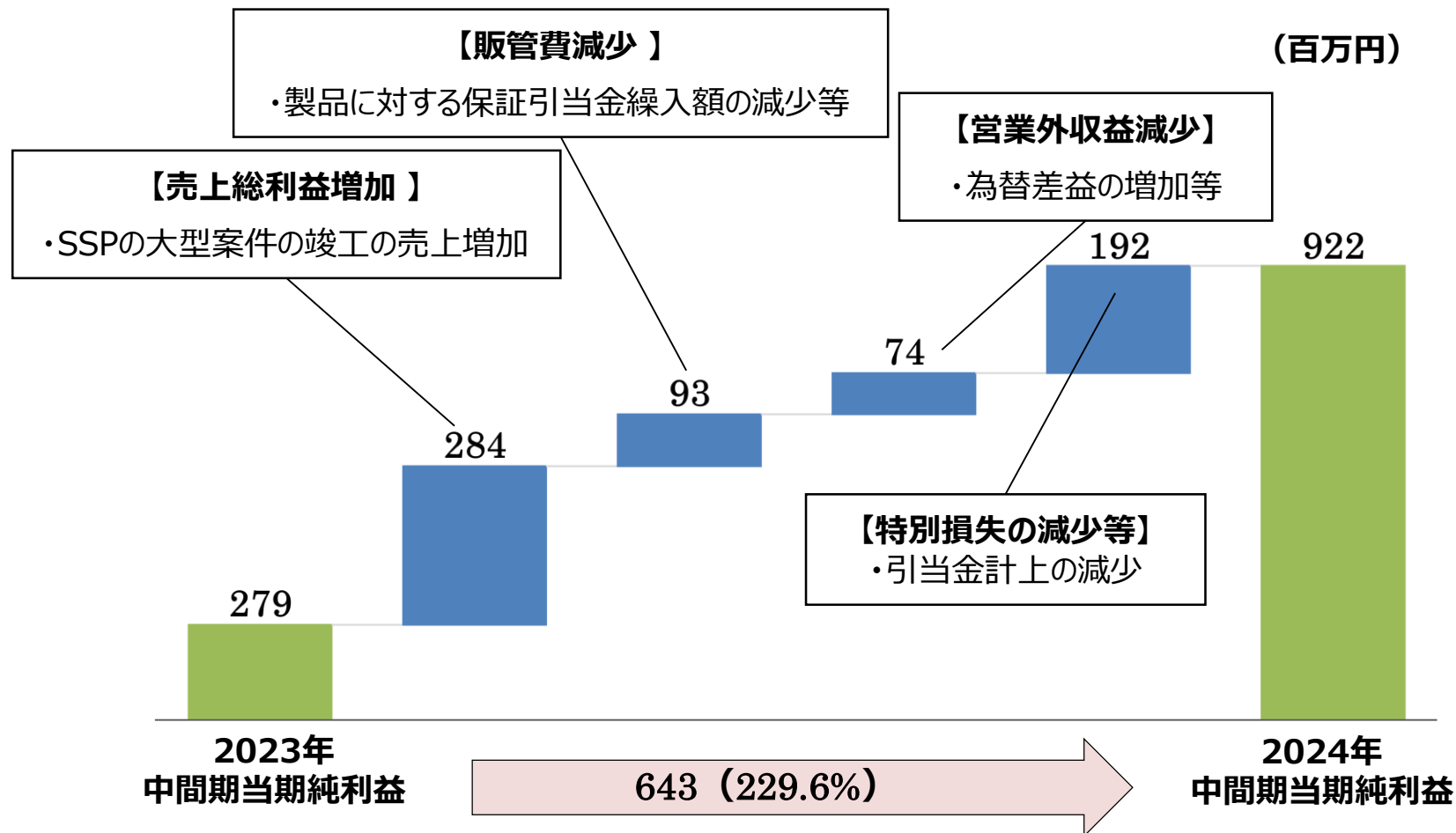
- ・中核事業の強化を目的に西華産業と資本業務提携を締結
- ・社員の労働環境向上に向けたベースアップ、福利厚生の見直しを実施
- ・徹底した品質改善活動への取り組み

前期比 売上高 +0.2% 営業利益 +62.7%増益

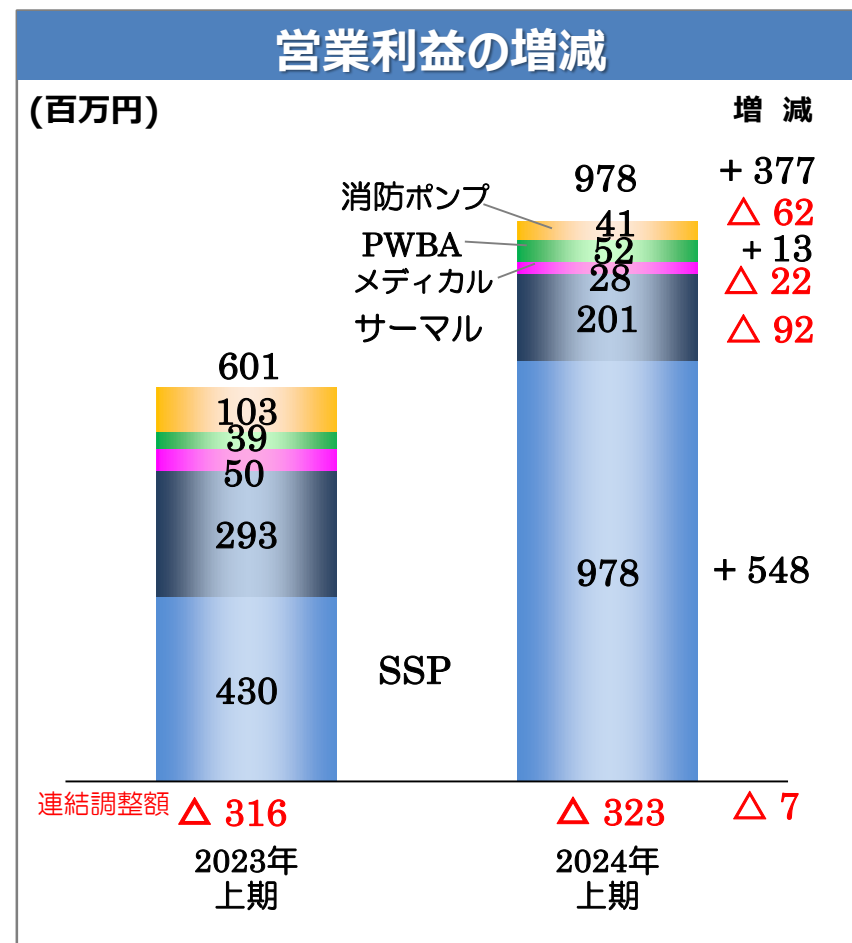
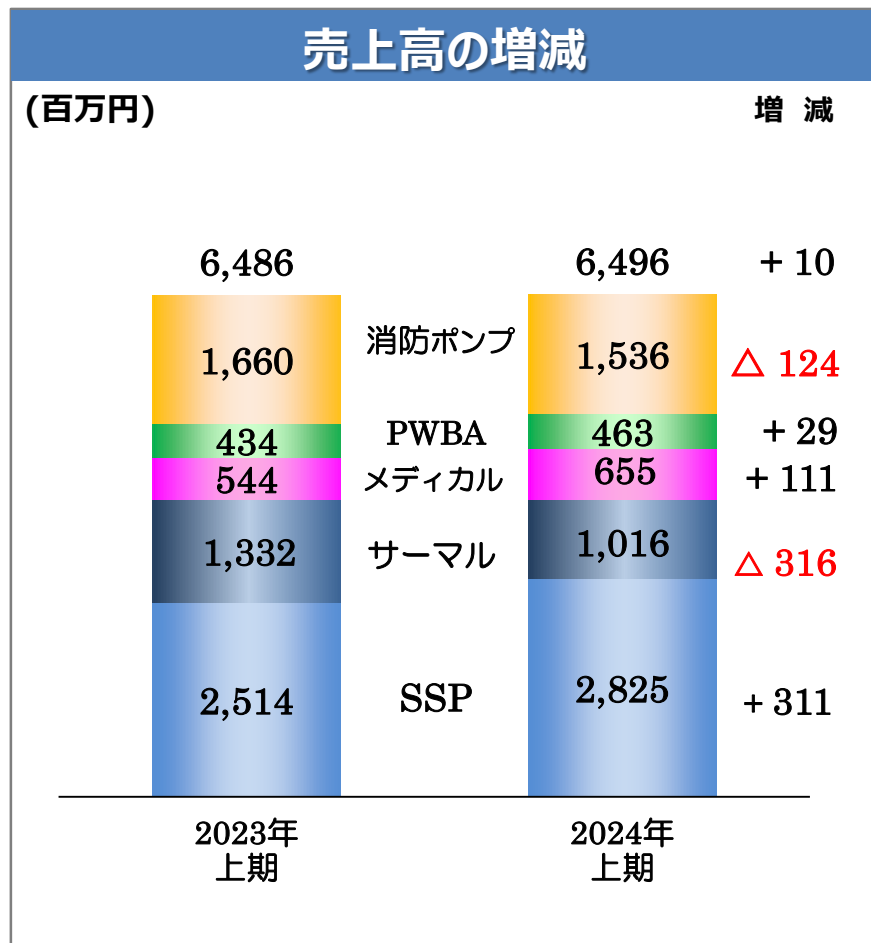
業績項目	当期実績		前年実績		当期予算 (百万円)	
	実績	実績	前期比	予算	進捗率	
■ 受 注	6,351	6,306	0.7%	13,736	46.2%	
■ 売 上	6,496	6,486	0.2%	12,790	50.8%	
■ 売上総利益	2,342	2,059	13.8%	3,766	62.2%	
■ 売上総利益率	36.1%	31.7%	4.3%	29.4%	—	
■ 販 管 費	1,364	1,457	△6.4%	2,858	47.7%	
■ 営 業 利 益	978	601	62.7%	907	107.8%	
■ 営業外損益	143	70	105.3%	37	387.3%	
■ 経 常 利 益	1,122	671	67.1%	944	118.8%	
■ 当 期 純 利 益	922	279	229.6%	508	181.5%	
■ 1株当り純利益(円)	164.53	49.92	229.6%	90.66	—	
■ ROE	6.8%	2.3%	4.5Pt	4.1%	—	
■ EBITDA マージン	17.8%	11.7%	6.1Pt	10.4%	—	

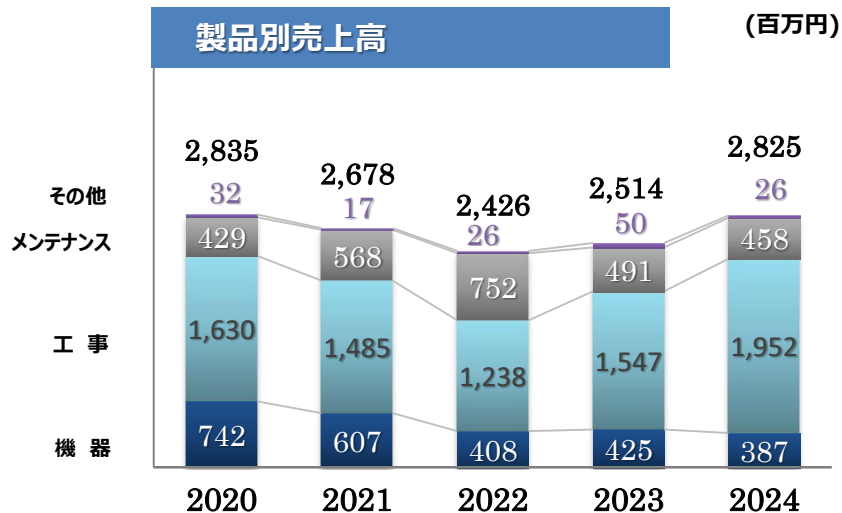
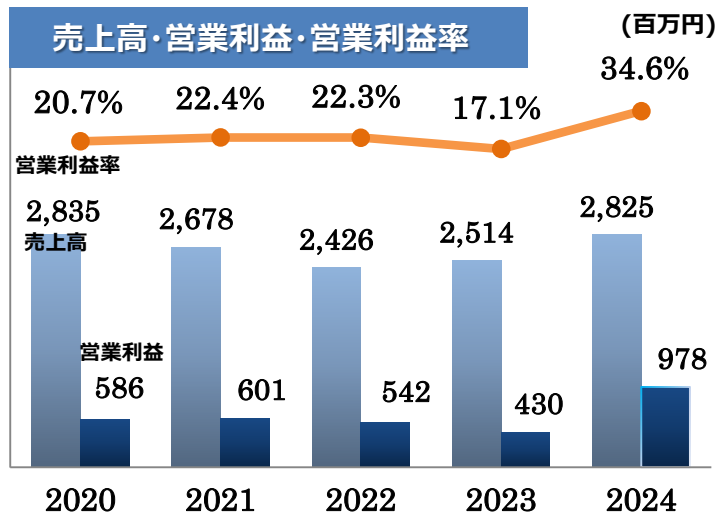
※ 予算は、2024年2月9日に開示しました通期業績予想の数値です

前期比 当期純利益増減要因



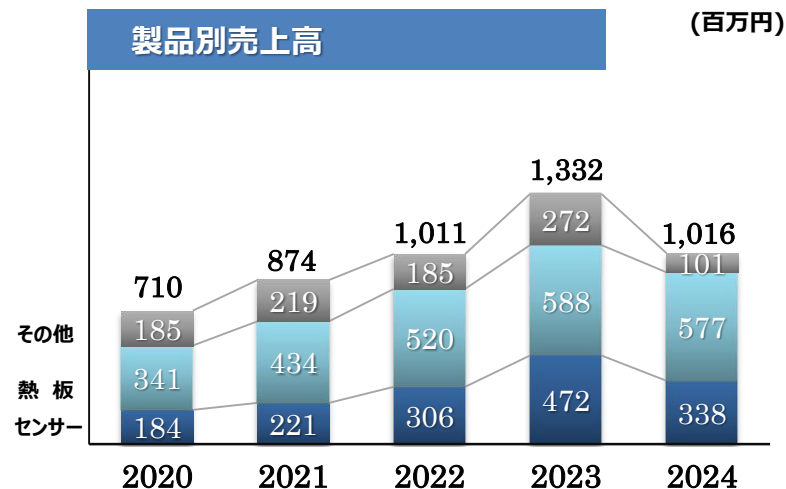
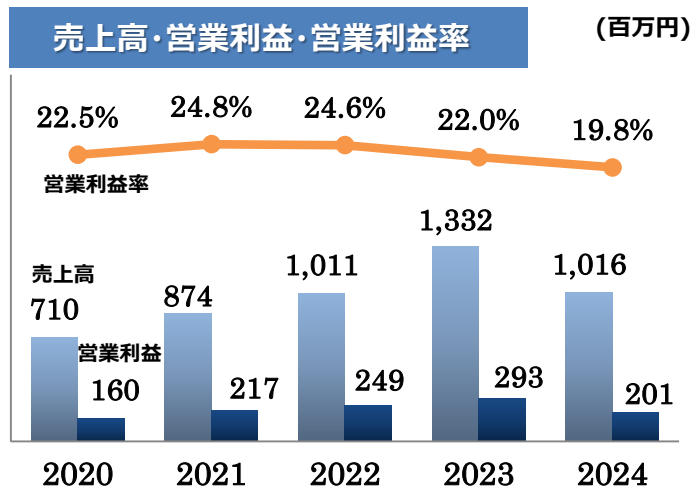
セグメント別実績





前期比 売上高12.4 %増、営業利益127.5 %増

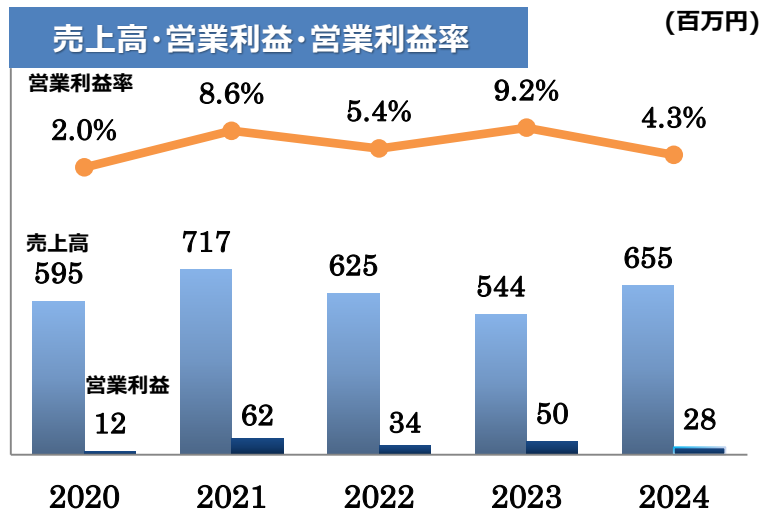
- ・ 売上高は、ガス消火設備及びスプリンクラー案件の竣工等により増加
- ・ 営業利益は、高採算のガス消火設備とスプリンクラー案件の竣工により増益
- ・ 今後は、西華産業との業務提携による販路拡大を推進



前期比 売上高23.8 %減、営業利益31.5 %減

- ・ 売上は、前期の半導体製造装置向けセンサーの特需の反動もあり前期比で減少
- ・ 営業利益は、原材料の高騰に伴い半導体製造装置向け熱板等の利益率が低下
- ・ 今後は、半導体市況の回復による熱板需要の増加が見込まれる

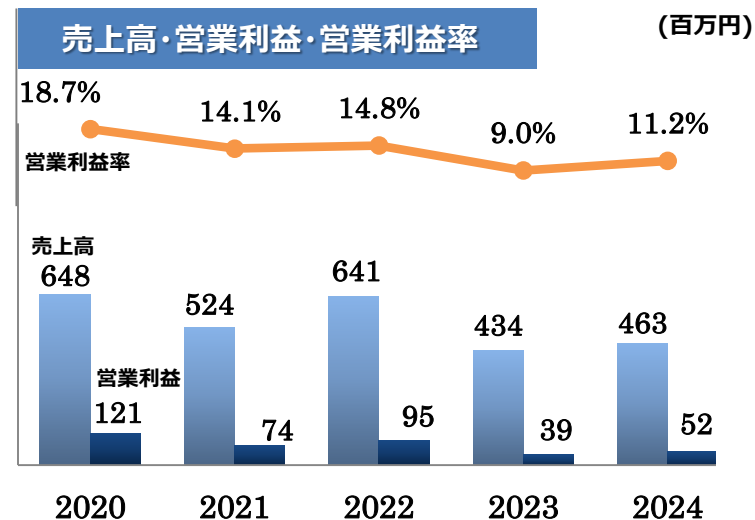
メディカル



前期比 売上高20.3 %増、営業利益44.6 %減

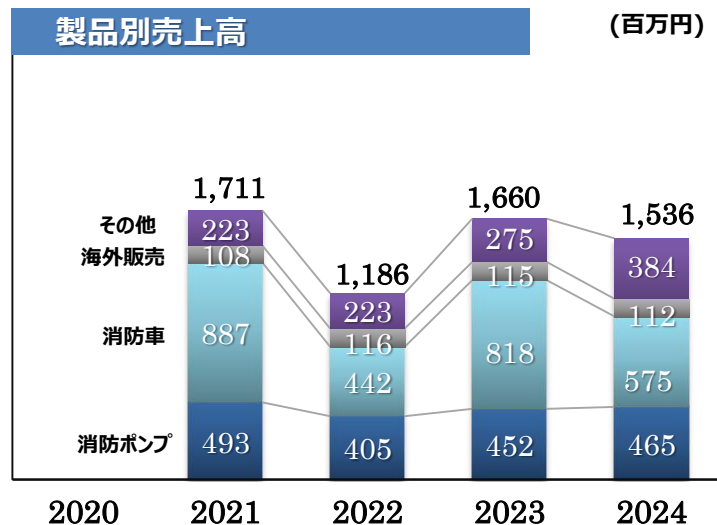
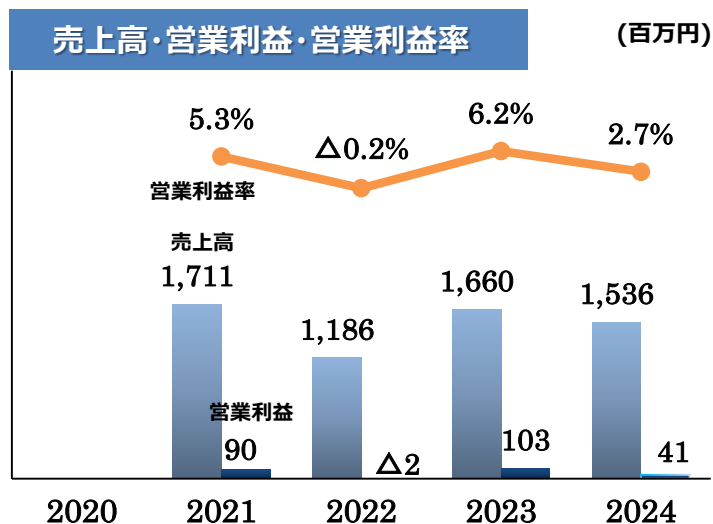
- ・売上は、主力製品の透析装置の販売増加により増収
- ・営業利益は、主に原材料の高騰により減益

PWBA



前期比 売上高6.7 %増、営業利益31.7 %増

- ・売上は、産業機器向け製品の需要回復が鈍く微増
- ・営業利益は、高採算製品の比率が高まり増益

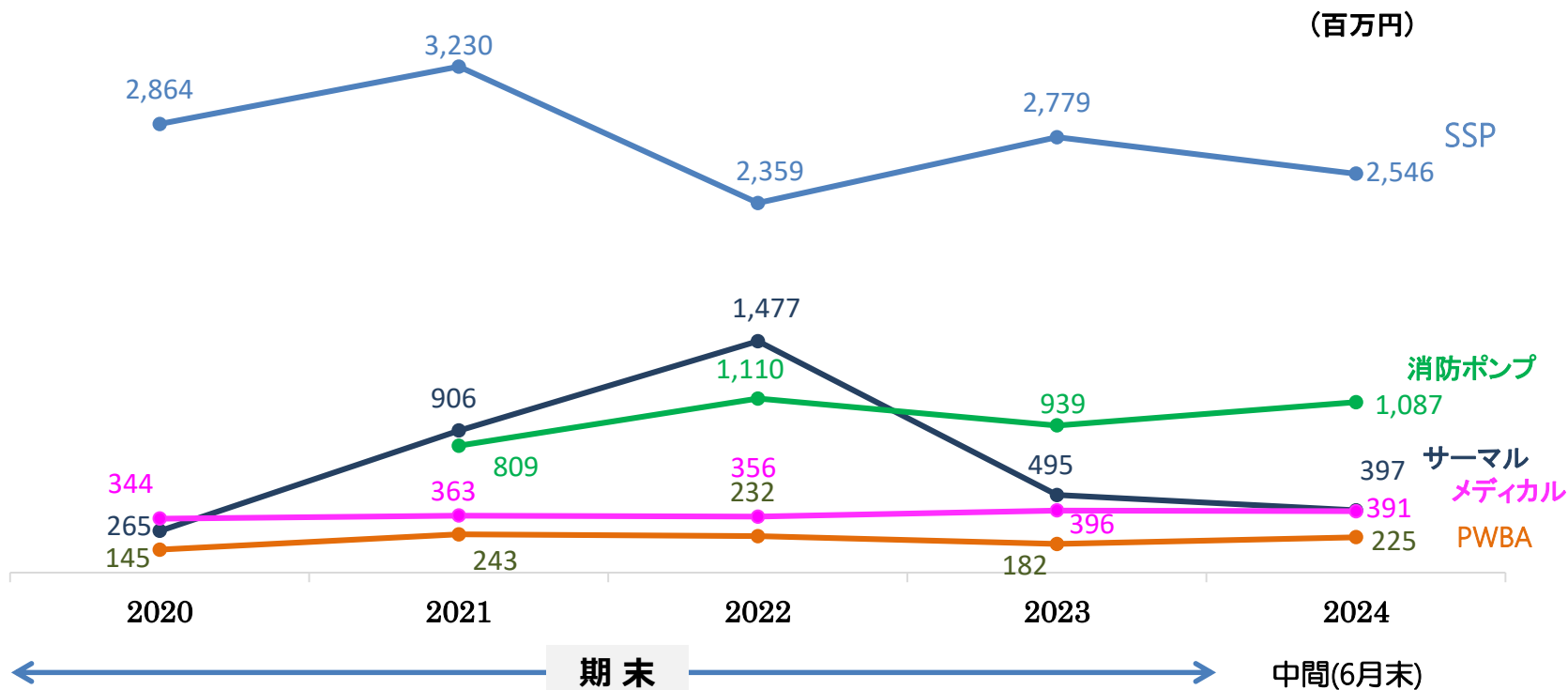


※2021年1月にシバウラ防災製作所を買収し連結子会社化

前期比 売上高7.5 %減、営業利益は59.5%減

- ・売上は、前期特需による国内向けの消防車の販売台数が減少したことにより減少
- ・営業利益は、売上の減少、本社・工場移転に伴うコスト増加等により減益

- ・ SSPは、製品不具合対応の長期化に伴う営業活動の停滞により減少
- ・ サーマルは、コロナ渦における半導体製造装置向けセンサーの先行受注の反動により減少



2024年度における主な取組み

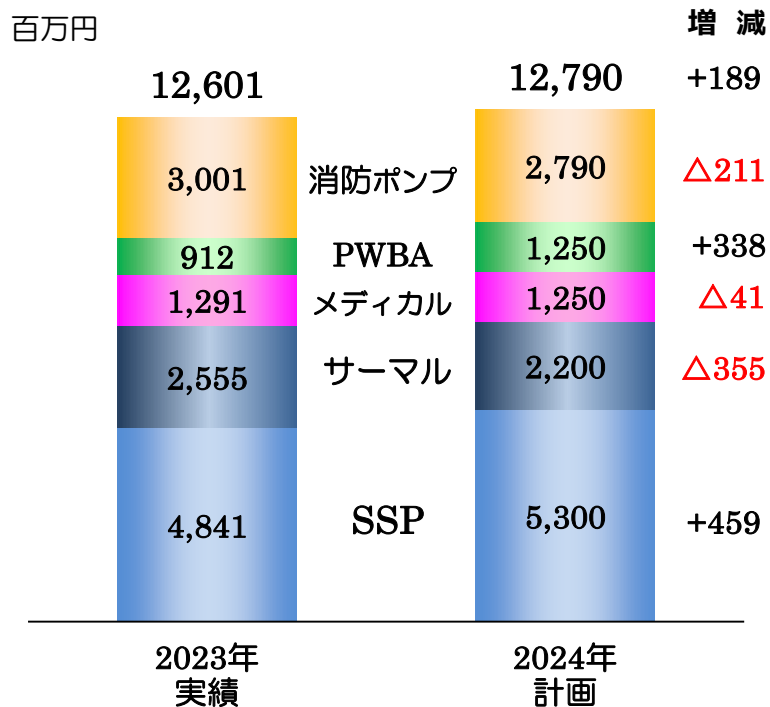
主な項目		上期の取組み	今後の取組み
1.人的資本	① 人員採用の強化	●採用専用サイトの開設 (2024年9月開設予定)	●障がい者雇用の促進 ●インターンシップ制度導入検討
	② 人財育成の充実	●階層別教育の実施	●次世代管理者の育成教育の実施
	③ 労働環境の改善	●賃金ベースアップの実施	●労働時間の削減
2.成長基盤	① 品質保証体制の構築	●徹底した品質改革の促進 ●トレーニー制度の導入	●ISO9001再取得
	② 営業活動の活性化	●ゼネコン/サブコンへの営業強化	●西華産業との連携強化
	③ 開発力の強化	●製品不正・不具合品の恒久対策品の開発	●産官学との連携推進
	④ 生産効率の改善	●品質管理体制の強化 ●原価低減活動への取り組み	●設備レイアウトの最適化 ●熱板量産に向けた体制整備

2. 2024年度 通期連結業績見通し

売上は堅調に推移するものの、原材料価格高騰等により増収減益を想定

計画項目		前期比 (百万円)	
項目	2024 予想	2023 実績	増減率
■ 売上	12,790	12,601	1.5%
■ 売上総利益	3,766	4,010	△6.1%
■ 売上総利益率	29.4%	31.8%	△2.4%
■ 販管費	2,858	2,975	△3.9%
■ 営業利益	907	1,035	△12.3%
■ 営業外損益	37	124	△70.3%
■ 経常利益	944	1,159	△18.5%
■ 当期純利益	508	385	31.7%
■ 1株当り純利益(円)	90.66	68.83	31.7%
■ ROE	4.1%	3.1%	1.0Pt
■ EBITDA マージン	10.4%	10.8%	△0.4Pt

売上高の増減



下期の主な取組み

- **SSP**
警報・消火設備を中心とした新規需要に加え、改修・メンテナンス等の既存設備に対する需要を確実に取込む
- **サーマル**
半導体製造装置向け熱板の増産に向けた体制の整備とデバイスメーカーへのセンサーの拡販

2024年度 配当・株主還元について

配当・株主還元方針

配当方針

- ・ 企業価値に資する積極的な投資を実施しつつ、安定的かつ継続的な配当を実現するためにDOE指標を採用する

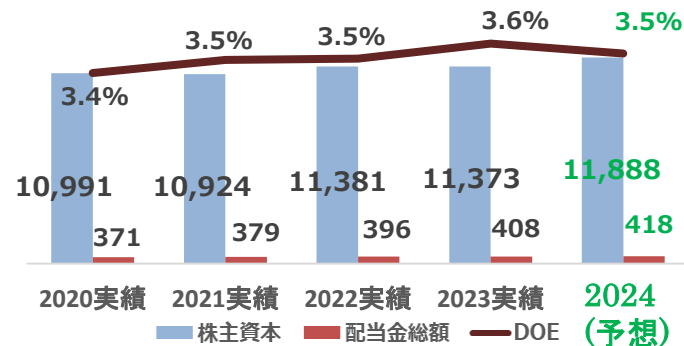
DOE 3.5 % 程度を目安

- ・ 株価水準、キャッシュフロー等を勘案し、自己株式取得による株主還元についても、機動的に検討する

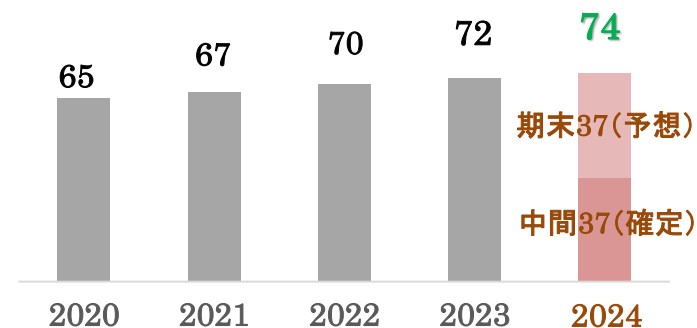
DOE3.5% : ROE 7.0% × 配当性向50%

年度	2020	2021	2022	2023	2024 予想
当期純利益 (百万円)	585	387	826	385	508
配当性向(%)	62.7	97.6	47.4	104.6	81.6
DOE(%)	3.38	3.47	3.48	3.58	3.52

DOE推移 (百万円)



1株当たりの配当金推移 (円)

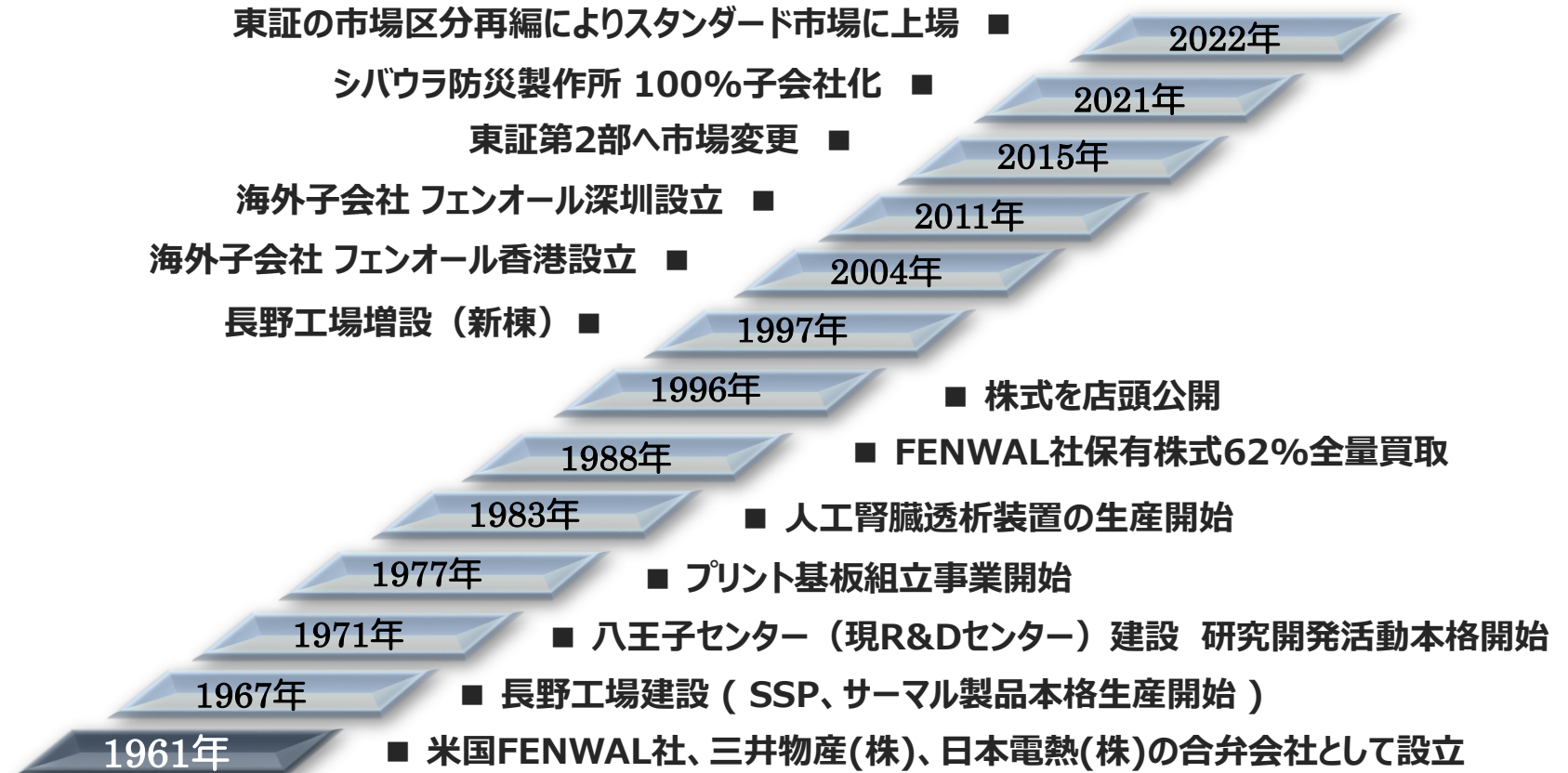


2024年度より中間配当を導入

3. Appendix

会社概要

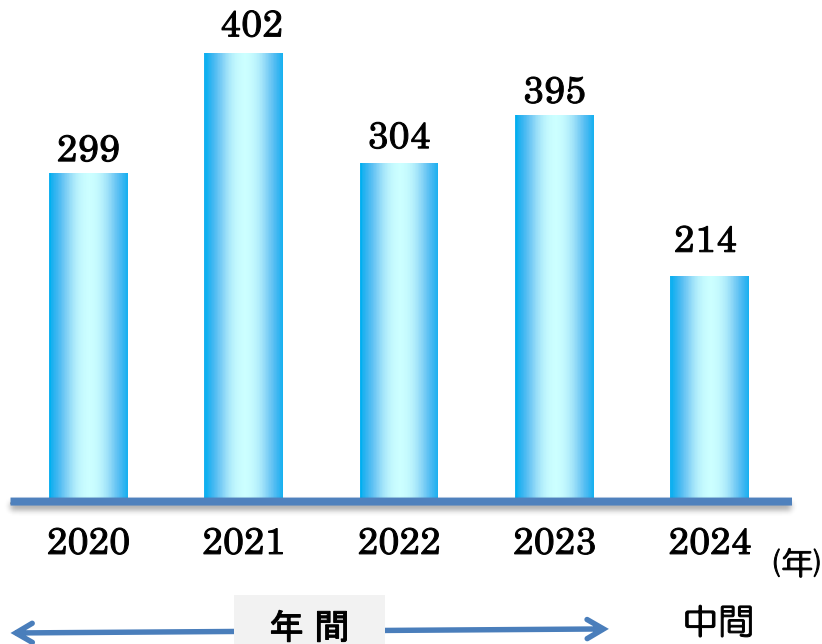
会社名	日本フェンオール株式会社
代表者	代表取締役社長 中野 誉将
設立日	1961年5月24日
上場市場	東証スタンダード市場
資本金	996,600,000円
従業員数	278名（連結）（2023年12月末現在）
本社所在地	東京都千代田区飯田橋一丁目5番10号
事業内容	・防災（SSP） ・制御（サーマル） ・医療（メディカル） ・基板実装（PWBA） ・消防ポンプ（グループ会社）
大株主	・THE HONGKONG AND SHANGHAI BANKING CORPORATION LTD ・西華産業株式会社 ・株式会社吉田ディベロプメント
取引銀行	・三井住友銀行 ・八十二銀行 ・三井住友信託銀行 ・三菱UFJ銀行
関連子会社	株式会社シバウラ防災製作所



区分	事業内容
防災（SSP）	火災警報システム、消火システム、爆発抑制システム、高感度煙検知システム、過熱警報システム等の開発・製造・販売および同システムの設計・施行・保守およびエンジニアリングサービス
制御（サーマル）	温度調節器、半導体・製造装置用熱板および装置、高温炉用熱電対、その他制御機器等の開発・製造・販売および同システムの設計・サービス
医療（メディカル）	人工腎臓透析装置および医療機器の開発・設計・製造・サービス
基板実装（PWBA）	アートワーク設計、ノイズ対策、プリント基板の実装組立
消防ポンプ	消防ポンプ、浄水機、その他防災機器の開発・製造・販売

研究開発費

(百万円)



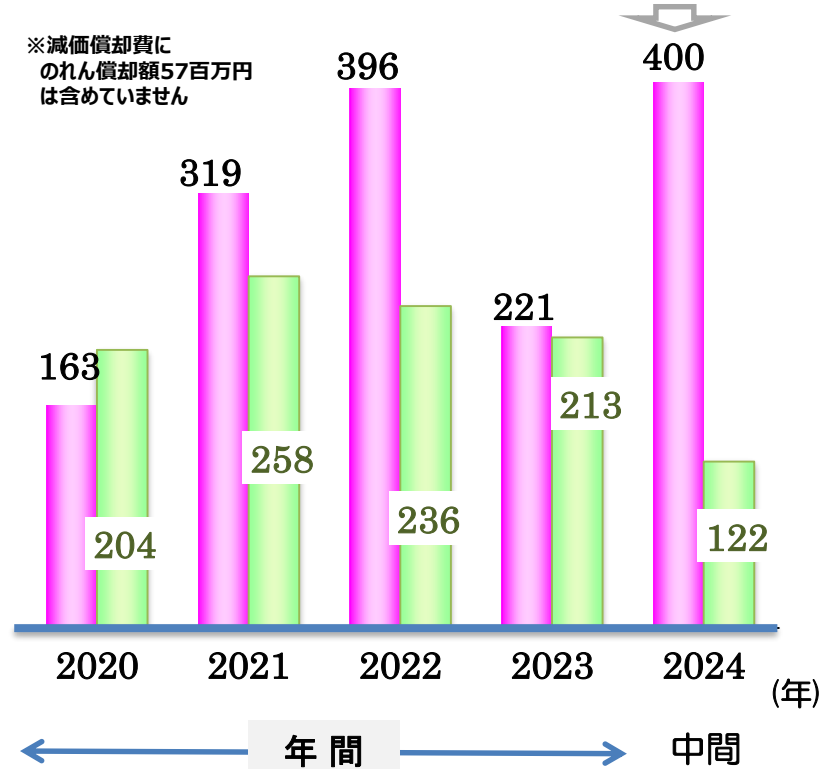
設備投資・減価償却費

(百万円)

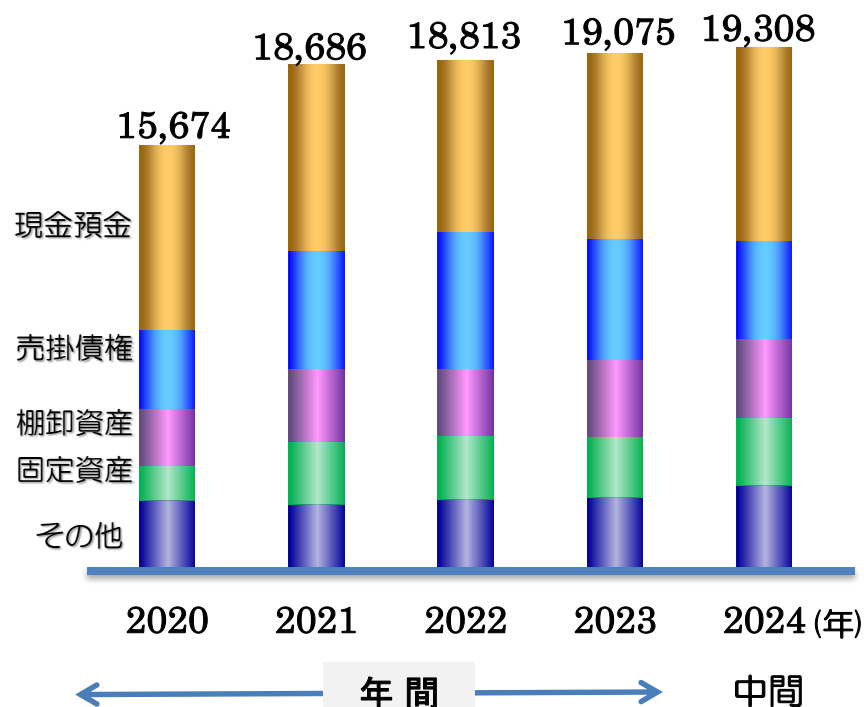
- 設備投資
- 減価償却費

子会社新工場移転等241百万円

※減価償却費に
のれん償却額57百万円
は含めていません



資産推移

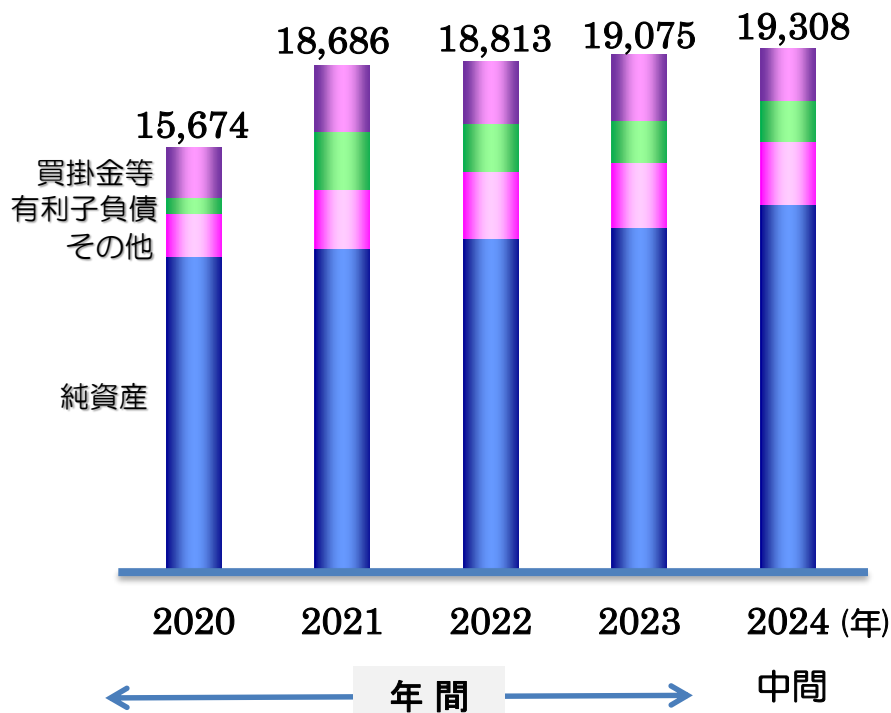


増減内容

(百万円)

項目	当期	前年度末	増減率
現金預金	7,144	6,819	4.8%
売掛債権	3,593	4,457	△19.4%
棚卸資産	2,923	2,839	3.0%
固定資産	2,509	2,244	11.8%
その他	3,139	2,716	15.6%
合計	19,308	19,075	1.2%

負債・純資産推移

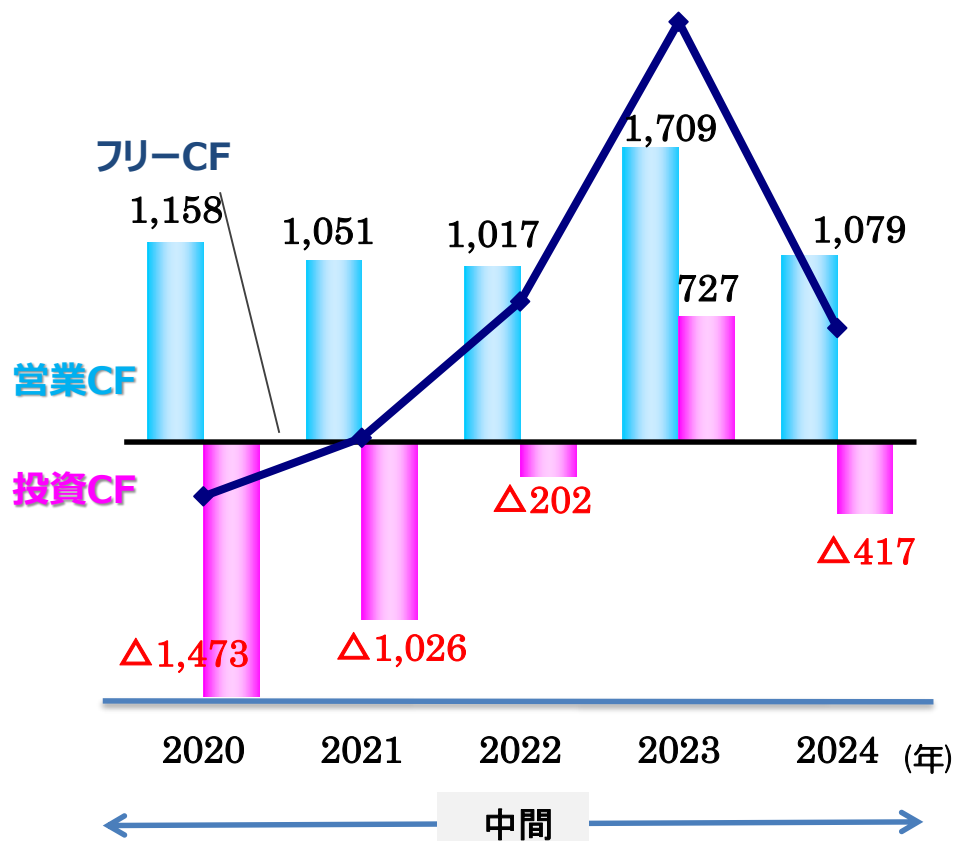


増減内容

(百万円)

項目	当期	前年度末	増減率
買掛金等	1,943	2,435	△20.2%
有利子負債	1,488	1,536	△3.1%
その他	2,329	2,424	△3.9%
純資産	13,547	12,680	6.8%
合計	19,308	19,075	1.2%

キャッシュ・フロー推移

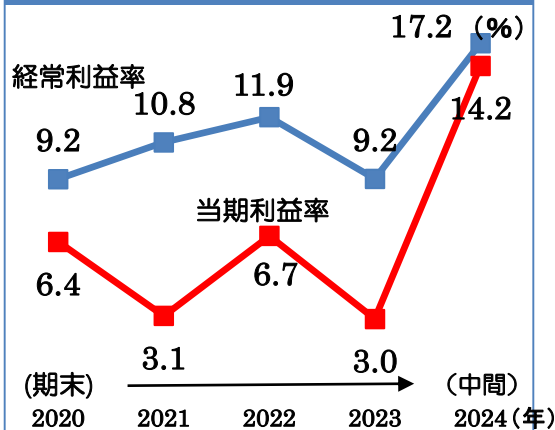


増減内容

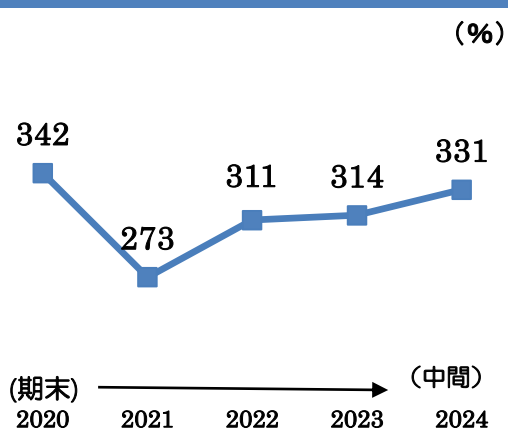
(百万円)

項目	当期	前期	増減率
営業CF	1,079	1,709	△36.9%
投資CF	△417	727	—
財務CF	△458	△394	16.2%
換算差額	121	66	83.3%
合計	325	2,109	—
期首残高	6,819	5,387	26.6%
期末残高	7,144	7,497	△4.7%
フリーCF	662	2,436	—

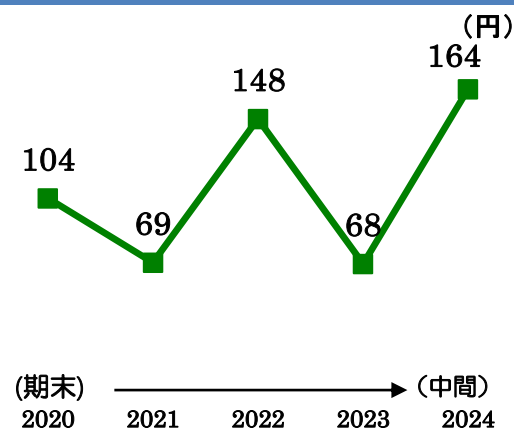
売上高利益率



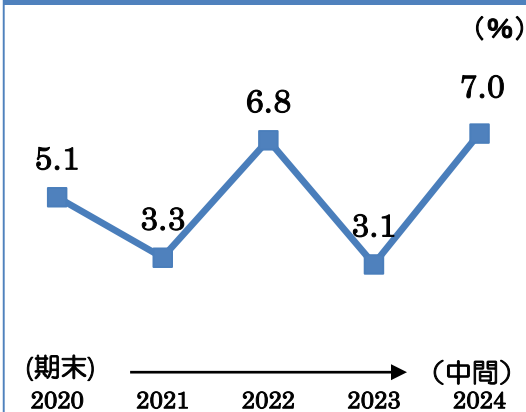
流動比率



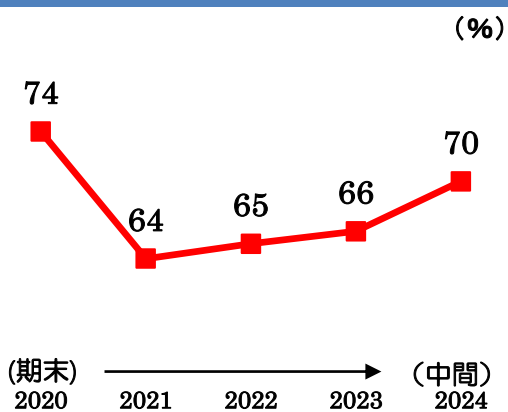
1株当り純利益



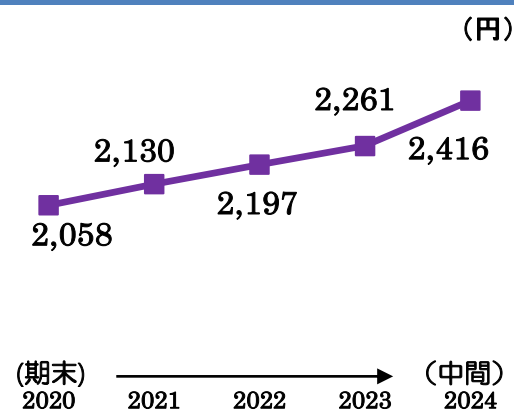
自己資本利益率



自己資本比率



1株当り純資産



■ 注意事項

本資料に記載されている内容は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が作成したものでありますが、特に見通し情報等につきましては、市場環境、為替レート等々様々なリスクや不確実性を内包しておりますので、当社の予測とは異なる可能性があります。

■ お問い合わせ先

日本フェンオール株式会社

執行役員 管理本部長 中島 昭

E-mail : akira.nakashima@fenwal.co.jp

住 所 : 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋一丁目5番10号

電 話 : 03-3237-3561